

農林水産委員会

委員一覧 (21名)

委員長	江島	潔 (自民)	野村	哲郎 (自民)	郡司	彰 (※)
理事	高野	光二郎 (自民)	藤木	眞也 (自民)	森	ゆうこ (※)
理事	堂故	茂 (自民)	宮崎	雅夫 (自民)	河野	義博 (公明)
理事	舞立	昇治 (自民)	山田	修路 (自民)	塩田	博昭 (公明)
理事	徳永	エリ (※)	山田	俊男 (自民)	谷合	正明 (公明)
理事	宮沢	由佳 (※)	石垣	のりこ (※)	石井	苗子 (維新)
	岩井	茂樹 (自民)	打越	さく良 (※)	紙	智子 (共産)
						(2.1.30 現在)

※ 立憲・国民・新緑風会・社民

(1) 審議概観

第201回国会において、本委員会に付託された法律案は内閣提出4件（うち本院先議1件）及び衆議院提出3件（いずれも農林水産委員長）の合計7件であり、いずれも可決した。

また、本委員会付託の請願6種類46件は、いずれも保留とした。

〔法律案の審査〕

家畜伝染病予防法の一部を改正する法律案（衆第2号）は、「豚コレラ」及び「アフリカ豚コレラ」の名称を、それぞれ「豚熱」及び「アフリカ豚熱」に変更するとともに、有効な予防液がないアフリカ豚熱が近隣諸国でまん延している状況に鑑み、当分の間の措置として、アフリカ豚熱の急速かつ広範囲なまん延を防止するために予防的殺処分を行うことができることとする等の措置を講じようとするものである。委員会では、提出者の衆議院農林水産委員長より趣旨説明を聴取した後、緊急に法改正を行う理由等について質疑が行われ、全会一致をもって可決された。

家畜伝染病予防法の一部を改正する法

律案（閣法第25号）は、野生動物における悪性伝染性疾患のまん延防止措置を講ずるとともに、飼養衛生管理基準の遵守に係る是正措置の拡充、輸出入検疫に係る家畜防疫官の権限の強化等の所要の措置を講じようとするものである。また、**養豚農業振興法の一部を改正する法律案（衆第5号）**は、豚の伝染性疾患の発生の予防及び豚の伝染性疾患が養豚農家の経営に及ぼす影響の緩和等の措置を講じようとするものである。

委員会では、両法律案を一括して議題とし、豚熱の防疫対策の現状と法改正による効果、肉製品の国内持ち込み防止のための水際対策の強化、養豚農家への支援の在り方等について質疑が行われ、いずれも全会一致をもって可決された。なお、家畜伝染病予防法の一部を改正する法律案に対し、附帯決議が付された。

家畜改良増殖法の一部を改正する法律案（閣法第35号）は、家畜人工授精用精液等の保存等に関する規制を強化するとともに、特にその適正な流通を確保する必要があるものについて容器への表示等の規制を整備する等の措置を講じようとする

するものである。また、**家畜遺伝資源に係る不正競争の防止に関する法律案（閣法第36号）**は、家畜遺伝資源に係る不正競争の防止及び不正競争に係る損害賠償に関する措置等を講じようとするものである。

委員会では、両法律案を一括して議題とし、和牛精液及び受精卵の流通管理の徹底、家畜遺伝資源の知的財産的価値の保護強化、新型肺炎による和牛需要の減少等について質疑が行われ、いずれも全会一致をもって可決された。なお、両法律案に対し、附帯決議が付された。

森林組合法の一部を改正する法律案（閣法第45号）は、森林組合の経営基盤の強化を図るため、組合間の合併以外の多様な連携手法の導入、正組合員資格の拡大、事業の執行体制の強化等の措置を講じようとするものである。委員会では、販売事業の拡大を通じた組合の経営基盤の強化、組合への女性・若年者の参画促進、組合の事業の目的から非営利に関する規定を削除する理由等について質疑が行われ、討論の後、多数をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法案（衆第23号）は、防災重点農業用ため池の決壊による水害等から国民の生命及び財産を保護するため、防災工事等基本指針の策定、防災重点農業用ため池の指定等について定めようとするものである。委員会では、提出者の衆議院農林水産委員長より趣旨説明を聴取した後、全会一致をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

〔国政調査等〕

1月30日、CSF及びASFの発生状況と対策に関する件について江藤農林水

産大臣から説明を聴取した。

3月5日、令和2年度の農林水産行政の基本施策に関する件について江藤農林水産大臣から所信を聴取し、3月10日、これに対し、輸入農林水産物ではなく国産品が実需者及び消費者から選択されるために必要な方策、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が公示された場合における食料の安定供給に向けた措置、新型コロナウイルス感染症対策のための全国一斉休校に伴う学校給食の休止によって損失が生じた生産者等を把握するための方策、種苗法への誤解に基づく主張が行われていることに関する大臣の所感、防災重点ため池の適正管理を県レベルでサポートする仕組みを導入する必要性、森林経営管理制度に対応するための市町村における体制整備を支援する必要性、年齢バランスのとれた漁業就業構造を確立するための方策、近海中規模漁船の海技士の乗組み基準の緩和により操業の安全性が確保できなくなる懸念等について質疑を行った。

3月18日、予算委員会から委嘱された令和2年度農林水産省所管予算の審査を行い、新型コロナウイルス感染症対策に伴う学校給食休止への対応として事業者が受ける支援の内容及び交付スケジュール、東アフリカ等におけるサバクトビバッタ被害の状況並びに日本への影響及び日本政府の対応、豚熱の早期終息に向けた対策及びアフリカ豚熱の水際対策の強化、模倣品の被害が多い中国等において我が国の地理的表示を保護する方策、令和元年台風第19号等により被災した宮城県丸森町における住宅の裏山崩壊の被害に対する国の支援、外国漁船による違法操業取締体制の抜本的強化等について質疑を行った。

4月2日、食料・農業・農村基本計画に関する件について、江藤農林水産大臣から説明を聴取した後、農業政策に対する国民の理解が十分に得られていないことに対する大臣の所感、食料・農業・農村基本計画における中小・家族経営の位置付けと国連が定めた「家族農業の10年」との関係、食料・農業・農村基本計画における地域政策の実施に当たり農林水産省主導で関係府省と連携する必要性、食料自給率が低い理由を都道府県別に分析しそれを向上させていく必要性、食料自給力指標の試算に用いられた作付体系を緊急事態時に実現するための方策、農林水産省作成の「緊急事態食料安全保障指針」の新型コロナウイルス感染症対策への適用、新型コロナウイルス感染症の影響により肉用牛を出荷停止している農業者の窮状、株式会社が農地を所有して農業に参入するという経団連の提言への懸念等について質疑を行った。

4月7日、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言下における食料の安定供給の確保、北海道網走市等において実施されているジャガイモシロシストセンチュウに対する緊急防除

の成果、アフリカ豚熱侵入防止策として違法な畜産物を持ち込もうとする者の上陸を拒否する法的根拠、食品ロス削減のため流通における「3分の1ルール」商習慣を緩和する必要性等について質疑を行った。

5月12日、各国の輸出制限が我が国の食料安全保障に与える影響、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため現場視察等ができない状況下においては種苗法改正案を審議入りすべきでないとの意見に対する大臣の所感、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない状況を踏まえ水産業への支援を拡充する必要性等について質疑を行った。

6月16日、飼養衛生管理基準の改正案における放牧制限及び避難用設備に関する規定内容、国家戦略特別区域における企業による農地取得の特例の活用状況、令和2年度補正予算における新型コロナウイルス感染症対策としての沿岸漁業者への支援措置の内容、北太平洋公海におけるさんま棒受網漁の本年の操業見通しと今後の政府の対応等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○令和2年1月30日(木) (第1回)

- 農林水産に関する調査を行うことを決定した。
- CSF及びASFの発生状況と対策に関する件について江藤農林水産大臣から説明を聴いた。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 家畜伝染病予防法の一部を改正する法律案(衆第2号)(衆議院提出)について提出者衆議院農林水産委員長吉野正芳君から趣旨説明を聴き、衆議院農林水産委員長代理宮腰光

寛君及び江藤農林水産大臣に対し質疑を行った後、可決した。

[質疑者]

紙智子君(共産)

(衆第2号)

賛成会派 自民、※、公明、維新、共産

反対会派 なし

○令和2年3月5日(木) (第2回)

- 令和2年度の農林水産行政の基本施策に関する件について江藤農林水産大臣から所信を聴いた。

○令和2年3月10日(火) (第3回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 令和2年度の農林水産行政の基本施策に関する件について江藤農林水産大臣、加藤農林水産副大臣、藤木農林水産大臣政務官、和田国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

堂故茂君(自民)、宮崎雅夫君(自民)、打越さく良君(※)、石垣のりこ君(※)、徳永エリ君(※)、塩田博昭君(公明)、石井苗子君(維新)、紙智子君(共産)

○令和2年3月18日(水) (第4回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 令和二年度一般会計予算(衆議院送付)
令和二年度特別会計予算(衆議院送付)
令和二年度政府関係機関予算(衆議院送付)
(農林水産省所管)について江藤農林水産大臣から説明を聴いた後、同大臣、青木国土交通副大臣、加藤農林水産副大臣、藤木農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

舞立昇治君(自民)、宮沢由佳君(※)、打越さく良君(※)、谷合正明君(公明)、石井苗子君(維新)、紙智子君(共産)

本委員会における委嘱審査は終了した。

○令和2年3月24日(火) (第5回)

- 家畜伝染病予防法の一部を改正する法律案(閣法第25号)(衆議院送付)について江藤農林水産大臣から趣旨説明を聴き、
養豚農業振興法の一部を改正する法律案(衆第5号)(衆議院提出)について提出者衆議院農林水産委員長吉野正芳君から趣旨説明を聴いた。

○令和2年3月26日(木) (第6回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 家畜伝染病予防法の一部を改正する法律案(閣法第25号)(衆議院送付)
養豚農業振興法の一部を改正する法律案(衆第5号)(衆議院提出)
以上両案について提出者衆議院農林水産委員

長代理宮腰光寛君、同石川香織君、江藤農林水産大臣、加藤農林水産副大臣、大塚内閣府副大臣、藤木農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局した。

〔質疑者〕

高野光二郎君(自民)、宮崎雅夫君(自民)、徳永エリ君(※)、森ゆうこ君(※)、谷合正明君(公明)、石井苗子君(維新)、紙智子君(共産)

○令和2年3月27日(金) (第7回)

- 家畜伝染病予防法の一部を改正する法律案(閣法第25号)(衆議院送付)

養豚農業振興法の一部を改正する法律案(衆第5号)(衆議院提出)

以上両案をいずれも可決した。

(閣法第25号)

賛成会派 自民、※、公明、維新、共産
反対会派 なし

(衆第5号)

賛成会派 自民、※、公明、維新、共産
反対会派 なし

なお、家畜伝染病予防法の一部を改正する法律案(閣法第25号)(衆議院送付)について附帯決議を行った。

○令和2年4月2日(木) (第8回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 食料・農業・農村基本計画に関する件について江藤農林水産大臣から説明を聴いた後、同大臣、亀岡文部科学副大臣、加藤農林水産副大臣、藤木農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

郡司彰君(※)、徳永エリ君(※)、石垣のりこ君(※)、石井苗子君(維新)、紙智子君(共産)、野村哲郎君(自民)、山田俊男君(自民)、谷合正明君(公明)

○令和2年4月7日(火) (第9回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 新型コロナウイルス感染症拡大時における食料安定供給に関する件、ジャガイモシロシストセンチウ対策に関する件、家畜伝染病対策に関する件、食品ロス削減に向けた取組に

関する件等について江藤農林水産大臣、加藤農林水産副大臣、義家法務副大臣、藤木農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

打越さく良君（※）、森ゆうこ君（※）、石井苗子君（維新）、紙智子君（共産）

○家畜改良増殖法の一部を改正する法律案（閣法第35号）（衆議院送付）

家畜遺伝資源に係る不正競争の防止に関する法律案（閣法第36号）（衆議院送付）

以上両案について江藤農林水産大臣から趣旨説明を聴いた。

○令和2年4月14日（火）（第10回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○家畜改良増殖法の一部を改正する法律案（閣法第35号）（衆議院送付）

家畜遺伝資源に係る不正競争の防止に関する法律案（閣法第36号）（衆議院送付）

以上両案について江藤農林水産大臣、加藤農林水産副大臣、藤木農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った後、いずれも可決した。

〔質疑者〕

山田修路君（自民）、石垣のりこ君（※）、徳永エリ君（※）、谷谷正明君（公明）、石井苗子君（維新）、紙智子君（共産）

（閣法第35号）

賛成会派 自民、※、公明、維新、共産

反対会派 なし

（閣法第36号）

賛成会派 自民、※、公明、維新、共産

反対会派 なし

なお、両案について附帯決議を行った。

○令和2年5月12日（火）（第11回）

○理事の補欠選任を行った。

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○新型コロナウイルス感染症拡大時における農林水産分野の制度変更に関する件、新型コロナウイルス感染症拡大時における食料安定供給に関する件、新型コロナウイルス感染症対策としての水産業への支援に関する件等につ

いて江藤農林水産大臣、加藤農林水産副大臣、藤木農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

徳永エリ君（※）、石井苗子君（維新）、紙智子君（共産）

○森林組合法の一部を改正する法律案（閣法第45号）について江藤農林水産大臣から趣旨説明を聴いた。

○令和2年5月14日（木）（第12回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○森林組合法の一部を改正する法律案（閣法第45号）について江藤農林水産大臣、加藤農林水産副大臣、藤木農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

〔質疑者〕

宮崎雅夫君（自民）、打越さく良君（※）、森ゆうこ君（※）、塩田博昭君（公明）、石井苗子君（維新）、紙智子君（共産）

（閣法第45号）

賛成会派 自民、※、公明、維新

反対会派 共産

なお、附帯決議を行った。

○令和2年6月11日（木）（第13回）

○防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法案（衆第23号）（衆議院提出）について提出者衆議院農林水産委員長吉野正芳君から趣旨説明を聴いた後、可決した。

（衆第23号）

賛成会派 自民、※、公明、維新、共産

反対会派 なし

なお、附帯決議を行った。

○令和2年6月16日（火）（第14回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○家畜伝染病対策に関する件、国家戦略特別区域における企業による農地取得の特例に関する件、新型コロナウイルス感染症対策としての水産業への支援に関する件、北太平洋公海におけるさんま漁業に関する件等について江藤農林水産大臣、加藤農林水産副大臣、藤木

農林水産大臣政務官、政府参考人及び会計検査院当局に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

宮沢由佳君（※）、徳永エリ君（※）、石井苗子君（維新）、紙智子君（共産）

○令和2年6月17日（水）（第15回）

- 請願第461号外45件を審査した。
- 農林水産に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。